

募集概要

- 募集期間：令和3年7月5日（月）～11月5日（金）
- 募集定員：15名（最大20名程度）
- 応募資格：富山県での就農を希望し、1年間通学が可能であり、卒業時点で原則50歳未満の者
- 受講料：年額118,800円（予定）
※他に教科書代、実習教材費、被服費等が必要
- 選考：令和3年11月28日（日）作文及び面接
- 結果発表：令和3年12月17日（金）
※一次募集で定員に満たなかった場合、二次募集を実施することがあります。

オープンキャンパス開催!

日時：令和3年7月24日（土）
午前9時30分～11時40分
場所：とやま農業未来カレッジ

募集要項（応募書類）の入手方法

- ホームページからダウンロード URL <https://taff.or.jp/nou/college>
- 県内の市町村、県農林振興センター、農協の就農相談窓口など
- 郵送を希望される方は、とやま農業未来カレッジにお問い合わせ下さい。



左) とやま農業未来カレッジ本校舎
右) 上：環境制御型園芸ハウス 下：管理棟



お問い合わせ先

公益社団法人 富山県農林水産公社
とやま農業未来カレッジ

〒939-8153 富山県富山市吉岡 108 番地
TEL 076-461-3180 FAX 076-461-3185
E-mail nougyou-college@taff.or.jp
URL <https://taff.or.jp/nou/college>

とやま農業未来カレッジ

令和4年度研修生募集

実家は農家だけど、
しっかりと、
農業の基礎を
勉強したい!



来たれ、
未来の
農業者!



農業を
勉強したことは
ないが、
農業をやりたい!



農業法人に
就職するために、
実践的な技術を
学びたい!



とやま農業未来カレッジについて

本県農業の担い手を育成するため、平成27年1月に県が開校した研修機関で、県から委託を受け、公益社団法人 富山県農林水産公社が運営しています。

就農を希望する方を対象とした1年制の通年研修の他に、青年農業者の経営能力を向上するために短期の「農業経営塾」や一般農業者を対象とした「公開講座」を実施しています。

通年研修の概要

- **研修期間** 1年間（4～3月）
- **対象者** 富山県内での就農を希望し、1年間通学が可能で、卒業時点で原則50歳未満の者
- **研修内容** 通学カリキュラム：年間 1,200 時間以上（1日4時限 × 90分）

1 座学講義…22科目

作物の栽培から、生産・流通・販売にいたるまでの農業に関する幅広い基本的知識を習得します。

水稲や園芸作物等の生理生態、栽培技術、雑草や病害虫防除、農業情報活用技術、農産加工や6次産業化、環境保全型農業、GAP、農政時事 など



2 作物実習…16作物・10農家等

県内の先進農家や研究機関、カレッジのICT環境制御型園芸ハウスで、本県主要県産物の実践的な経営や栽培技術を学びます。

主 穀 作：水稲・大麦・大豆
園芸作物：白ねぎ等露地野菜、トマト等施設野菜、りんご等果樹、チューリップ等花き など



3 機械操作演習

農耕用大型特殊自動車免許などの資格取得や農業機械の操作・点検整備の演習、ドローンなどのスマート農機の体験をします。

各種資格取得：農耕用大型特殊自動車免許
刈払機安全操作講習
富山県農業機械士 など



4 校外カリキュラム

農家派遣実習など校外において、集中的な講義・実習をします。

農家派遣実習：県内の先進農家で農作業を体験実習
夏 期 合 宿：農業者組織役員との意見交換などの実施
県外連携講座：農林水産省の事業による講座等に参加



卒業生を招いての交流会（夏期合宿）



国内の先進農家による公開講座
（R2はリモートで実施）



県立中央農業高校の農産物販売
（中農祭）に参加

● 年間の主な行事



● 講 師

カレッジの専任指導員を始め、県の研究員・普及指導員、農業高校教員、先進農家、大学関係者、農業機械・ICT等の専門家などの講師陣が指導します。



水田雑草の見分け方の研修

進路指導・卒業後の支援

● 就農相談・進路指導

青年農業者等育成センターなどと連携して、就農に向けた相談や就農に関する各種情報の提供を行うほか、就農計画の作成など卒業後の進路について個別指導を行います。

● 就農準備等のサポート

自営就農を目指す研修生には、就農計画に基づく機械・施設の整備や制度資金の活用、農地の斡旋、住宅の確保など、県農林振興センターや県農林水産公社、市町村と連携して支援します。

法人等への就職を目指す研修生には、円滑に就農できるよう、農業関係団体等の協力も得ながら就職先の紹介やマッチング交流会などを実施します。

さらに専門的知識、技術の習得を目指す研修生には、先進農家を始め、日本農業経営大学校、県農林水産総合技術センター、中央農業高校専攻科等の連携先での研修など、目的に応じた研修先を斡旋します。

※ 農業次世代人材投資資金（準備型）

国の農業次世代人材投資資金（準備型）制度の対象となるカリキュラムを備えており、一定の要件※を満たせば、年間150万円の受給も可能です。（※親子及び配偶者の年間所得、一定期間の就農など）